

やざわ 矢沢たかお

自由民主党 川崎市議会議員

NEWS

Photo: 新市役所本庁舎エントランス

Vol.30
2023May
～
2023July
討議資料

みなさん、こんにちは。川崎市議会議員（宮前区選出）の矢沢孝雄です。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、本格的に社会経済活動が以前に戻りつつあります。地域社会における喜びが戻る様子に喜びを感じると共に、改めて日常の尊さを痛感させられます。Vol.30では統一地方選挙が終わり、新しい市議会構成で臨んだ令和5年第3回定例会を中心にご報告致します。

第3回定例会おけるご報告 3項目

1 今後12年間で474億円の赤字！？

～横浜市営地下鉄3号線延伸事業の今後の方向性について～

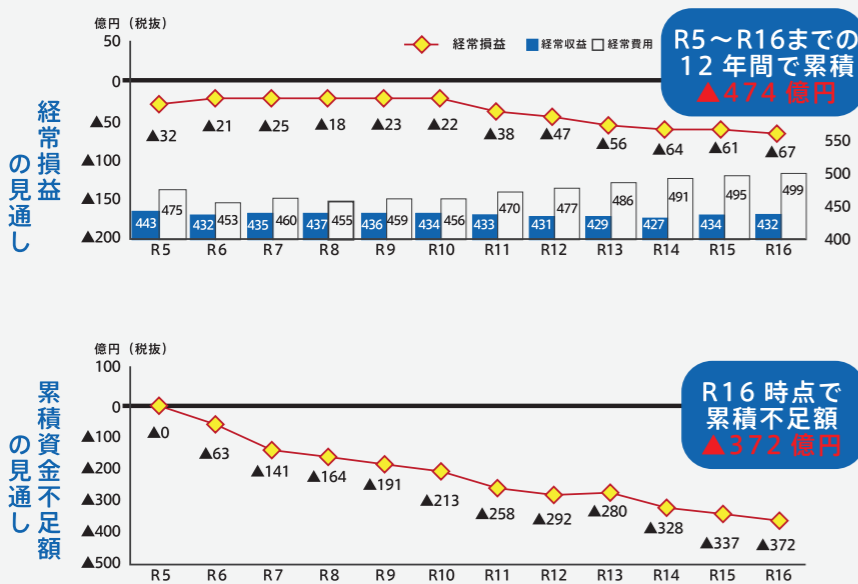
＜質問の背景＞

令和12年度開通目標のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅まで横浜市営地下鉄を延伸する事業についてです。川崎市に設けていく中間駅を含めたルート設定については宮前区側ルートである「東側ルート」で選定され、あとは事業開通を待つのみという認識を持たれている市民は多いかと思えます。ですが、新型コロナウイルスを契機に市営交通の経営状況は悪化し、現在は原材料・エネルギー価格の高騰が大きな問題が顕在化しています。経営難が続く見通しが横浜市営交通経営審議会からの答申でも出されています。今回は、これらの状況を踏まえた中で、市営地下鉄延伸事業の今後の方向性について伺いました。

今回の横浜市営交通経営審議会からの答申によると、今後の乗客見込みがコロナ前に比べ減少する予測である事に加え、物価・エネルギー価格の高騰の影響もあり、令和16年までの今後12年間で経常損益は累積474億円の赤字、資金不足額は累積372億円の赤字が予想されている。

今後の地下鉄延伸事業に及ぼす影響について、藤倉副市長に見解を伺う。

横浜市営交通経営審議会からの答申



2 令和7年度開通目標！！

～都市計画道路横浜生田線（水沢工区）開通に向けた状況について～

QRコード読み取りで詳細内容が確認できます



3 幼稚園児は10年間で1万人減・・・

～幼稚園型預かり保育事業の充実を妨げる制度の改善について～

QRコード読み取りで詳細内容が確認できます

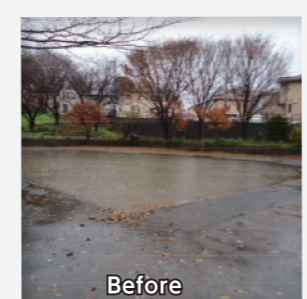


第3回定例会一般質問の様子

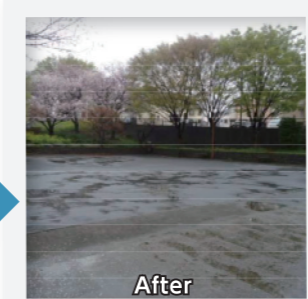
日々、どういった活動をしているの!? 矢沢たかおの 日々の活動

令和5年2023 5月 ▶ 7月

活動の一部を写真で紹介します



Before 東高根森林公園の公園広場の雨水排水問題



After 雨水排水対策実施後の公園広場



3歳児眼科健診で導入したSVS(スポットビジョンスリーナー)を視察



永岡文科大臣に対して少子化対策に関する提案書を提出



新しい議員記章を受け取り3期目スタート



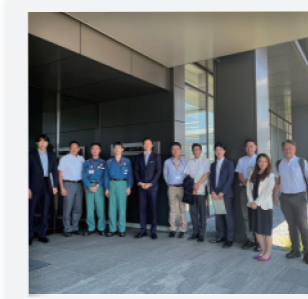
市内50以上の団体との意見交換「団体ヒアリング」の様子



後援会事業報告会にて神奈川県19区支部長に就任した草間剛支部長を紹介



金沢市のごみ収集制度に関する視察を実施



川崎区浮島町 ENEOS川崎製油所視察

川崎 主な議会スケジュール

4月

- ・第2回臨時議会
- ・常任委員会

5月

- ・市議会議員総会
- ・第2回臨時議会
- ・常任委員会

6月

- ・第3回定例会 (6/12～)
- ・常任委員会

7月

- ・第3回定例会 (~7/6)
- ・市内団体ヒアリング (7/10～7/19)
- ・常任委員会

8月

- ・常任委員会
- ・第4回定例会 (9/4～10/13)

9月

- ・決算審査特別委員会
- ・常任委員会

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

- 電話 044-976-2727
- FAX 044-976-8686
- mail mail@yazawa-t.info

矢沢たかお 検索
https://www.yazawa-t.jp/
twitter facebook



第3回川崎市議会 定例会6月議会のご報告

6月12日から7月6日までの会期中、令和5年川崎市議会第3回定例会が開催されました。今議会では、議案34件、諮問1件、報告12件が上程されました。

開会にあたり市長より、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も引き続き感染状況を注視しながら必要な対策を進めつつ、物価高騰が続く中、特に影響を受けやすい低所得者世帯等に対して、特別給付金を支給するとともに、経営基盤の強化に取り組む中小企業を後押しするなど、社会経済状況を踏まえた取組を推進するとしました。我が会派としても、経済活動をコロナ禍以前のように活性化させ、日本経済を牽引する元気な都市「かわさき」となるよう、市に対し引き続き提案・要望してまいります。

代表質問では、47項目について質問を行いました。各常任委員会での議論を経て、定例会最終日に上程された議案すべてが可決成立しました。



上：青木功雄 議長
下：原典之 団長

新体制がスタートしました！

令和5年4月の改選を経て、我が会派から第44代川崎市議会議長に青木功雄議員（高津区）が就任されました。自民党川崎市議会議員団も新たな体制でスタートしました。

100年後の未来に向けて多くの先人が努力してきたように、今を作る責任政党として、安全で安心、快適で豊かな温かい街、「次の100年へ、SDGs未来都市かわさき」の実現に向け、17人が一丸となって邁進してまいります。

多摩区
橋本勝 各務雅彦 上原正裕
まちづくり委員 環境委員 環境委員

高津区
大島あきら 青木のりお
環境委員 健康福祉委員

中原区
松原しげふみ 原のりゆき すえなが直
環境委員 環境委員 まちづくり委員

麻生区
山崎なおみ
総務委員

宮前区
矢沢孝雄 浅野文直 石田やすひろ
総務委員 まちづくり委員 文教委員

幸区
野田まさゆき 加藤たかあき
環境委員 健康福祉委員

川崎区
しまざき嘉夫 本間賢次郎 山田瑛理
健康福祉委員 健康福祉委員 文教副委員長

「次の100年へ、SDGs未来都市かわさき」
7つの柱と58の約束

ふるさと納税の趣旨や実態を 知っていただくことが重要！

喫緊の課題となっている「ふるさと納税」による市税流出。流出額は今年度約125億円となる見込みです。我が会派は、従来から寄附金の使い道をより明確にしたガバメントクラウドファンディングの活用等を提案要望してまいりましたが、このたび、期間限定の寄附メニューとして「市制100周年記念事業の推進」「全国都市緑化かわさきフェアの推進」「東海道川崎宿の魅力向上の推進」が追加されました。これらも含めたふるさと納税による寄附金収入は今年度約11億円が見込まれます。引き続き国に対して制度の見直しや改善を要望して行くとともに、ふるさと納税の本来の趣旨や流出の厳しい実態、市税の意義や使途等について市民一人一人に理解してもらえるような啓発活動の取組を市に求めてまいります。



新メニュー!『地域連携強化事業』登場

商店街と地域団体が連携・協力し、課題解決する新たな取組に補助金ができます。昨年度から開始した補助金ですが、商店街の課題解決に取り組む人材が不足していることや、福祉団体等からの、より簡便かつ速やかにこの制度を利用したいとのニーズを受け、新たなメニューが追加されました。商店街を支援する”民間事業者”が申請することも可能。先着制、書類審査のみ。お気軽にご活用ください。詳細は市HPをご参照ください。



川崎市ホームページ

新たなミュージアムの 開設候補地が決定！

「新たなミュージアムに関する基本構想」において、開設候補地として被災リスクが少ない場所として「生田緑地ばら苑隣接区域」が適地とされました。実施されたパブリックコメントでは、開設候補地に関する意見が287件と最も多く、開設地の決定にはアクセス面を課題としています。我が会派からの質問に対し、公共交通機関の更なる充実などの検討を進めるとともに、隣接するばら苑までのアクセス路整備や生田緑地内の立地している文化施設等との連携を推進するためにも回遊性向上策についても併せて検討を進めると答弁がありました。

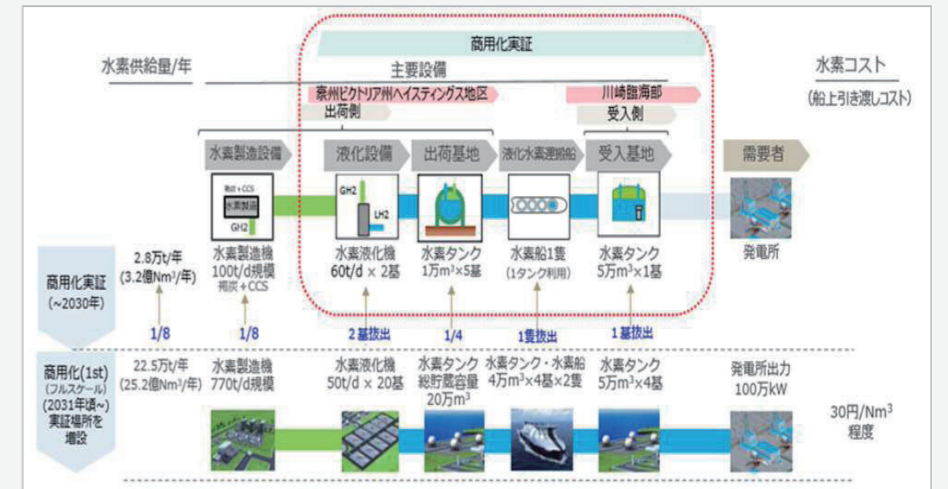


「ミュージアム(拠点施設)」と「まちなかミュージアム」の関係性イメージ



本市が液化水素の受入地に選定されました！

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構と市内民間事業者等が商用化の実証実験に取り組んでおり、本年3月に本市が、液化水素の受入地に選定されました。実証実験が終わる2031年以降、その発電量100万千瓦ワットとおおよそ原発1基分に匹敵することを目指しています。CO2フリーな水素が全国に先駆けて供給されることは、川崎臨海部に立地する企業のカーボンニュートラル化に寄与するものであり、産業競争力の強化につながる取組であり、税収や雇用の確保を安定的なものになることが期待されます。



矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる (37歳)
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
- 平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・平成31年二期目当選
- 令和4年度 自民党川崎市議団 副団長、健康福祉委員会 委員長、議会運営委員会委員
- 趣味：剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段

看護大学院整備基本計画(案) が発表されました！

令和7年4月に川崎市立看護大学大学院を開設する整備基本計画(案)が発表されました。

大学院設置による本市医療体制への効果として、大学院卒業後に病院や行政機関などの就業先において、専門性を活かした活躍や円滑な医療・介護連携など地域包括ケアシステムの推進が期待されます。また、大学等の教員として、教育面から看護の質の向上にも寄与するものと考えています。

【特色ある大学院づくり】

地域で活躍する社会人がさらなる専門性習得のため働きながら通うことも想定し、学・教育体制や最寄り駅から徒歩圏内で通える利便性の良いサテライト・キャンパスの整備を検討。

- 平日夜間帯や土曜日などを活用した授業の実施
- 通信技術を用いた遠隔(オンライン)授業の実施
- 川崎駅近隣のサテライト・キャンパスの整備
- 本市の地域特性を踏まえ、また人的・物的資源を活用した授業の実施
- 本市関連施設や部署と連携した研究活動の実施及び市が保有する様々なデータを活用した研究の推進
- 学部と大学院の連携により長期的なキャリア形成を実現できる教育体制
- 大学院の授業に関わる教職員の柔軟で効率的な勤務体制

